

特集

外科医のための癌免疫療法 基礎と臨床

標準治療では克服することが困難な難治癌や再発癌に対し、「第4の癌治療法」として期待されてきた免疫療法。必ずしも期待された治療効果は得られていないのが現状だが、近年、免疫研究技術の進歩に伴い多くの癌抗原が明らかになり、professionalな抗原提示細胞である樹状細胞の培養法が確立され、癌抗原を標的とした「特異的免疫細胞療法」である癌ワクチン療法が注目されている。

癌ワクチンを含む免疫療法に対する評価は、「エビデンスがないこと」が最大の問題点となっているが、徐々に臨床試験の結果が集積されはじめ、2010年4月には前立腺癌に対する樹状細胞ワクチン PROVENGE[®]がFDAに承認されている。

本特集では、〈基礎編〉として癌免疫に関する最近の研究成果の解説、そして〈臨床編〉として現在進められている臨床試験、および先進医療として承認されたワクチン療法などを取り上げ解説していただいた。癌免疫療法に対する取り組みの最前線を報告する。